

no 03

愛される青汁作り
全国のファンが待ち望む



kyusaifarm shimane

株式会社 キューサイファーム島根

伺ったのは島根県益田市。少し山の方に登っていくと、突然、目の前に広大な畑が広がります。新鮮な緑が織り成す、美しい景観。この広大な畑には、ケールという聞きなれない野菜が栽培されています。このケールを使って青汁を製造・販売しているのが「株式会社キューサイファーム島根」です。みなさんのご両親の世代では「まずいもう一杯!」というインパクトあるCMが有名で、青汁のパイオニア的な存在として認知されています。多くの家庭で長年愛されているキューサイ青汁は、高い品質を保てるように農薬・化学肥料を一切使用せず、虫取りも手作業で行うなど、こだわりを持ってケールの栽培と青汁の製造を行っています。それを支えるのは安心安全な商品をお客様に届けたいという情熱。あなたが栽培するケールを全国のお客様が楽しみに待っている、そんなスケールの大きい仕事をしてみませんか?



収穫されたケールは工場では商品に加工されます。工場での受け入れ時に、収穫されたケールの厳格な品質検査を行い、安心安全な商品を製造しています。



生産部門が活躍する工場は乾燥工場と冷凍工場の2つ。トラブル起きないように、生産休止の季節にはしっかりとメンテナンスを行います。美味しい青汁を作るため、部署の仲間同士連携して業務にあたります。

安心安全への情熱

代表取締役社長 廣田英二さん

私たちは、スキンケア・ヘルスケア用品の製造販売をしているキューサイ株式会社のグループ企業です。主にキューサイのケール青汁を製造するために、畑でケールを栽培し、工場で青汁を生産しています。ケールという野菜はあまり馴染みがないかもしれませんが、ケールはキャベツの原種で、食物繊維やカルシウム、ビタミンといった栄養素が豊富で青汁の材料としてよく使われており、自社農場でこのケールを年間約1000トン栽培しています。畑の大きさで言えば、実に東京ドーム11個分の広さになりますね。規模が大きくイメージしづらいと思いますが、それだけたくさんの方が需要があるということです。現在、日本では多くのメーカーが青汁の製造・販売をしていますが、キューサイはその走りとも言える会社で、30年以上前からケール青汁を作っています。それだけの長い歴史をもち、愛され続けているケール青汁は徹底した品質管理のもと栽培・製造しています。農薬不使用で栽培をしていますし、収穫の際は手作業で対応しています。品質の悪いものが混ざらないように、人の目と手で確認しながら丁寧に収穫する



んです。また、収穫前は農業検査をして、クリアしたものしか工場に出荷しません。この規模の畑で、ここまでの品質を保つことは大変な作業ですが、それでも社員一丸となってこだわり続けています。そのこだわりを支えるのは「安心安全な商品を作って、全国のお客様に幸せを届けたい」という仕事への情熱があるからです。キューサイファーム島根の仕事は社員に支えられている部分が多いので、社員がもっと楽しく、充実して仕事に取り組める環境作りにも着手していきたいですね。

Interview

社員さんインタビュー



原田さん (入社11年目)

製造課という部署で加工室を担当しています。収穫されたケールの裁断と、絞った青汁の殺菌をする工程です。工場はケールが収穫できる限られた時期しか稼働しないので、それ以外の時期はトラブルが起きないように機械の整備や、部品交換などを行っています。工場で生産する収穫のシーズン中は本当に忙しいですが、シーズン後は従業員で打ち上げをしたり、オンオフのメリハリがしっかりしている職場です。作業は一人作業ではなく、チームとして作業するので仕事がしやすいです。また、シーズンを通して何百トンものケールから莫大な量の青汁を、「自分が作ったんだ」と思えるので、達成感をものすごく感じられる仕事です。



有福さん (入社4年目)

広大なケール畑の管理をしています。私はもともと、お家にある小さい畑で野菜を育てたことがきっかけで、農業に興味を持っていました。ただ、お家の畑と違って、こちらのケールは無農薬なのに立派に育つんです。「どんな方法で生産しているんだろう」と興味を惹かれて入社しました。従業員はみなさん優しく、とても働きやすいです。ケールは成長が早いので、それを観察するのが好きですね。雄大な自然に囲まれながら、和やかに働ける環境はとても魅力的だと思います。農業に触れてみたい、大自然の中で仕事してみたいと思っている方にはぴったりの職場ですよ。

Company Data

業種：農業・製造業
設立：1998年
従業員数：67名（2021年12月末現在）
代表：廣田英二
場所：島根県益田市虫追町320-39
<https://www.city.masuda.lg.jp/soshiki/32/1275.html>



◀MACHI TERASUのWEBページ

最近の農業事情を教えてください！



農業は高齢化のイメージがありますが、近年では若者の人気業種になりつつあります。特に女性で興味を持たれる方が増えています。

ベテランから直接スキルを学ぶ機会が多いので、能力をどんどん伸ばせます。大規模農場経営や食品加工に興味がある、食の分野で人の役に立ちたいと思える方は是非一度話を聞きにきてください。